

白石凡先生について

経済学部長 安部 一成

白石凡先生は、本学部の前身山口高等商業学校出身（第15期、大正11年卒業）の大先輩である。高商卒業後河上肇先生のおられた京都大学に進んで研鑽を積まれてから朝日新聞に入られ、めくるめく激動の昭和を鋭いペンで刻みながら、歩んでこられた。本学部の長い歴史のなかでジャーナリストとして大成されたかたは極めて少数であることから、先生は極めて異彩を放つ存在であった。

重い体験にしっかりと裏打ちされた豊かな思想、歴史的現実のすぐれた洞察力に基づく卓越した先見性、日本の未来にかける情熱、その人間像はまさしく私たちの畏敬の対象となりうるに十分である。アジアに平和の体制が保障される上での枢要な条件をなしている日中永遠の絆を固める営為に、いま先生は身を挺しておられる。先生は、本学部がアジアにおける新しい展開に視野を開き、アジアの真の発展のために私たちが何をなすべきかをつきつめていくためにも、国際経済学科の創設を強く期待され、いろいろとお力添えを寄せられたのである。ここにあらためて先生の御尽力に衷心からお礼を申し上げます。

私たちは前々から一度、先生のお話を聞きたいと熱望していたが、やっとその念願がかない、去る5月19日「詩と真実」「学問と人間について」と題して御講演をいただいた。前世紀末にお生まれになり、「動物的年齢」は随分と重ねられているのに、発想のみずみずしさ、ものすごい眼量、矛軟な思

考力、澄み切った心情に、希有の若さを印象づけられて驚嘆し、そして感動した。混迷に呻吟するいまの世の中にあって、いつまでもいつまでもお元気で、冴えた筆力を存分に発揮していただくよう祈念いたしたい。

白石凡先生略歴

本名 巖(いわお)。下関市長府町に1898年7月25日生まれる。山口高等商業学校を経て、京都大学経済学部卒。朝日新聞社へ入社し、学芸部長、論説委員、社会部長、出版局長、編集局長、論説主幹を歴任。現在朝日新聞本社嘱託、社友。著作を業とする。日中文化交流協会常任理事、日中友好協会正統本部顧問。

現住所 東京都杉並区永福町3-7-6。